



近畿支部会報2010年1月新春号

明けましておめでとうございます。昨年は皆様のご協力により、近畿支部の活動を無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。今年もより良い支部活動が出来るように、皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

2009年度日本サーバス近畿支部12月総会報告

日時 2009年12月19日(土) 場所 大阪 弥生会館

参加者 本部役員4名 支部役員3名 会員5名(大阪2 京都1 滋賀2)計12名

総会当日は、大雪の為に北陸からの列車が遅れ、大津方面からの会員の到着が遅くなるという天候でした。でも、会場はとても温かくアットホームな雰囲気です。総会を終える事が出来ました。総会後は、和太鼓「式伍路衆」5人による和太鼓と笛の演奏を楽しみながらのお食事という、とても楽しい時になりました。演奏者はワークショップで全参加者に和太鼓をご教授下さいました。会場はとても盛り上がり、こんな少ない会員ではもったいないの声がしきりでした。



1、当日お配りした資料

1、2009年度サーバス近畿支部総会

1、2009年度事業報告

3月20日	春の例会	京都市	京大会館	8名参加
5月30日	初夏の例会	兵庫県	西宮ヨットハーバー内「ユーカリ」	8名
8月1日	夏の例会	京都市	京都第2タワーホテル	9名
10月10日	秋の例会	大津市	湊町倶楽部	19名

2、今年度文章化した支部会則

①、支部運営の円滑化のために

- ・役員はやる気と能力を発揮して、協力的な支部運営が出来るように心がける。
- ・役員は総会や例会の前には役員会を開き、会議で討議する原案を作る。
- ・支部で行う事柄は、総会や例会で支部会員にはかって実行する。
- ・人事に関する事柄も同様とする。
- ・総会や例会の欠席者は議決権がなく、出席者にその権利を委任するものとする。
- ・例会で討議・検討する事柄について意見のある会員は、出来る限り例会に出席して意見を述べる。

②、退会者について

- ・退会を希望される会員は、本人の申し出を受け、その意思を確認の上、退会となる。
- ・年会費をその年の12月末日までに払っていない人は退会者とする。
- ・海外出張中など、その年度中にどうしても払えない会員は、遅れる理由を会計まで申し出る。合理的な理由の申し出があった会員は上記の規定外とする。
 - ・連絡が取れない会員、あるいは、サーバスの趣旨や活動にふさわしくない行為がある会員は、退会扱いとなる。

③、休会者について

- ・休会者とは、何らかの事情により、サーバス活動を自発的に休止して、休会する旨の届け出をした者とする。
- ・例会、総会などの連絡は会員と同様に行い、都合がつけば、積極的に参加して頂く。
- ・休会者の年会費は、会員と同額とする。

④、年会費について

- ・次年度年会費納入のお願いは年度末の総会案内に合わせて行い、納入期限を12月末日とする。
- ・期限を過ぎても未入の人には、会計より知らせ、速やかに払っていただく。

3、2010年度事業計画

3月 春の支部例会

3月27～28日 日本サーバス国内会議（於京都）

5月 初夏の支部例会

10月 秋の支部例会

12月 支部総会

ホームページは、原則として、各例会終了後に立ち上げる。

4、役員の新募集

現在ホストコーディネーター 会計監査を募集しています。引き受けて下さる方は、支部長に申し出て下さい。

5、本日の議題

- ①総会文書に記述の、今年度の事業報告等、次年度の事業計画、役員の募集について
- ②2009年度支部会計中間報告、2010年度支部予算（案）について
- ③日本サーバス50周年記念誌について
- ④例会案内に合わせて配布したアンケートについて依頼
- ⑤国内会議について
- ⑥10月例会で討議して青年部の件の経過報告

日本サーバス会長のアルゼンチンでの国際サーバス総会報告に、次の記述がありますので、参考にして下さい

2009年国際サーバス総会で私が注目したのがサーバスユース組織の存在と活動でした。2009年3月の日本サーバス国内会議でもサーバスユースの活動が話題の1つになりましたのは、この会議の参加者には記憶に新しいと思います。私ここにサーバスユースグループ〈仮称〉を結成することを提案します。これは日本サーバスの会員の年齢層の若返りに効果があるだけでなく、日本サーバス全体の将来を見据えた活動になるようにしたいと思います。この事につきまして皆様からの活発なご意見やご提案を期待しています。

追伸 国際サーバスユースグループ代表のMR, pablo chufeni によると2010年5月頃に世界サーバスユースグループ、東南アジア大会の開催を計画しています。この計画の詳細情報はまだありません。情報を入手次第、お知らせします。

⑦その他

終了後は、美味しいお食事と、和太鼓グループ「弐伍路衆」による素敵な音楽をお楽しみください。

2、2009年度（平成21年度）日本サーバス近畿支部 会計中間報告（省略）

3、2010年度（平成22年度）日本サーバス近畿支部予算（案）（省略）

4、50周年誌作成準備のための材料収集、分類作業

日本サーバスは、2012年9月に50周年を迎える

1. 50周年誌作成の本年度（2010年3月末の日本サーバス国内会議まで）の目標
25周年誌出版後今日までの現存資料の収集

本部関係は元会長が担当

- ・ 25周年誌編集時以降～1997年 A(大阪)担当 本部会報64号まで*
国内会議議事録（第10回～第19回）
- ・ 1997年～N会長就任時(2003年5月)I(滋賀)担当 本部会報65号～80号(2003年1月 国内会議議事録（第20回～第25回）
- ・ N会長就任時以降（2003年5月～今日まで） N(佐賀)担当

本部会報 81 号～ 本部会報に代わる本部からの書簡
各支部関係は現支部長（担当責任者）が担当

各支部会報他、支部（長）作成諸文書、報告書、会合内容、会員との交信など
各支部の定期（不定期）刊行分は下記の通り（1988 年以降）

北海道 2007 年 3 月号 ～ 2009 年 3 月号（3 号のみ）

東北 4 号～66 号（63 号）

関東 63-1 号～2009. Sep-Oct 号（年 6 回程発行）

東海北陸 88-1 号～09-5 号（毎月発行、近年は年 3 回程度発行）

近畿 1988 年 1 月号～2009 年 8 月号（毎月発行、近年は年 4 回程度）

中国四国 1988 年 ～ 2009 年 6 月号（年 3 号程度発行）

九州 61 号 ～ 134 号（74 号）

2. 来年度会員からの投稿原稿募集開始

- (例示)
- ・ 我がスイートホームと来訪者達
 - ・ サーバス旅行記—ホームステイで育んだ友情
 - ・ サーバスを考える
 - ・ サーバスのすすむべき道
 - ・ サーバスの将来
 - ・ サーバス雑感
 - ・ その他サーバスに関する一切

※できるだけ多くの原稿を集める（写真付大歓迎）

2、当日の話し合い

議題のうち、1、2009 年度事業報告、2、今年度文章化した支部会則、3、2010 年度事業計画と、2009 年度日本サーバス近畿支部会計中間報告、2010 年度日本サーバス近畿支部予算（案）については、次の付帯条件を付けて承認されました。

付帯条件 会員が受け入れたトラベラーの受け入れ報告(人数等)、12 月 31 日付で締めをした今年度の支部会計決算書、それを受けて作成する次年度の支部会計予算案を次の例会に提出すること。

4、役員について

- ①、会計監査の K.M 様が体調を崩され、会計監査は T.S 様が変わります。
- ②、支部長が仕事で超人的に忙しくなられ、国内会議を持って、支部長を降りられます。
- ③、ホストコーディネーターは、引き続き募集しています。

5、50 周年記念誌について

50 周年記念誌について、記念誌編集委員長と編集委員の I.K 様より、本年度の目標と各担当者がなすべき事、来年度以降の取り組みについて提案があり、続いて以下の事を話し合いました。

- ① 費用について、本部会計が、予算が少なくなってきたので、当初考えられていた程の予算が記念誌に取れないと言っているのので、次の国内会議で話し合ってください。
- ② 記念誌は古くてやめられた会員より、今在籍している会員の原稿の方が親しみを持って読めるので、なるべく今の会員の原稿を載せてほしいとの要望があり、その為には、現在在籍している会員から原稿を出して欲しいと、編集委員から要望されました。
- ③ 今ある原稿はそのままが良いが、新しく作る原稿については、次の国内会議でフォーマット等が提案されるので、それに従って作成して下さい。

6、10月例会で討議した青年部の取り組みについて

会長のアルゼンチン報告の中に青年部の事が書かれていますので、その内容で取り組まれるだろうことが報告されました。

3、報告・連絡等

1、例会案内に合わせて会員にお願いしたアンケートについては、1月5日が締め切りなので、ご提出をよろしくお願いいたします。

2、国内会議について

国内会議は、2010年（平成22年）3月27日（土）28日（日）、京都の京大会館（前回と同じ場所）で行ないます。詳しくは後日ご案内しますが、ご参加と運営へのご協力をよろしくお願いいたします。

遠方より来られる会員の方へ宿泊場所(ホテル)を紹介する必要を確認しました。その間、サーバホストを引き受ける事が出来る会員の方は、ご連絡下さい。

27日の午前に50周年記念誌の話し合いを行うため、部屋を確保しています。部屋を使用する話し合い等が他にあれば、お知らせください。

3、ホームページのアップについて、会員より原稿を出しているのに、一向にアップされない事について、質問がありました。支部役員は会員よりの原稿をもとにホームページを作成して、最終原稿を11月1日にホームページ係に提出しています。少し遅れましたが、明日20日にアップを予定している事が、ホームページ係より報告されました。

2009年日本サーバ近畿支部会報10月秋号がアップされていますので、ホームページを開いてご覧ください。

4、役員について

・国内会議後、支部長を引き受けて下さる方、又、ホストコーディネーターを、引き受けて下さる方はご連絡下さい。

トラベラー報告

Servas Korea との再会

2009年12月23日 I.T(大阪)

今回の滞在は、前滞在地オーストラリアのブリスベンから帰国する際、韓国にストッ

プオーバーで寄ったため、3泊4日という短いものでした。ですが、そんな短い滞在の間に、多くの友達と再会し、また、新たな友達が増えました。

写真にあるように、前回09年6月に韓国に来た際、Servasホストとなってくださった、YさんKさんご夫妻とも再会することができました。ご夫妻が、わざわざヨンチョン郡という北の地からソウルまで地下鉄ではるばる2時間かけて、私に会いに来て下さったことに、「感謝」と「喜び」以外の言葉は見つけれません。



三人で、南大門市場と仁寺洞に行きました。私が、大好きな韓国版「花より男子」のグッズを買っていると、お二人はとても笑っていました。

また、Kさんはさすが韓国の女性。市場で、私が買い物をする際は、私の代わりに値切ってくれました。



Hさんは、Yさんご夫妻のServasを通じたご友人です。前回の旅で知り合い、大変お世話になりました。その後もずっと連絡を取り続け、今回はHさんのゲストハウスに泊まらせてもらうことになりました。

Hさんはお母様をととても愛していらして、見ていて仲睦まじいです。

Hさんのパーティーに同席させてもらいましたが、Hさんのご友人はみなさん楽しい

方々ばかりでした。みんなで一緒にノレバン（カラオケ）にも行き、私はモーニング娘を歌って、100点を取ることができました。笑。

韓国は本当にひとが温かい国です。今回で3度目ですが本当にそう思います。

一度、「チング=友達」になれば、同じ仲間として、温かく受け入れてくれます。

そんな韓国が、私は大好きです！

みなさんもぜひ、訪れて、彼らと触れ合ってみてください。

新会員のF.Hです。関西の大学で非常勤講師をしております。

私とサーバスとの出会いは丁度3年前、アメリカ・サンフランシスコでの留学中です。冬休みに大学を通じ、クリスマス・プレゼント包装のボランティアをしておりました。カトリックを母体にした組織が、子供にプレゼントを買えない低所得の親や、孤児達のためにおもちゃを集めました。それを年齢別に包装する作業で、サーバス関東支部のYさんご夫妻と一緒にしたのです。奥様が当時サクラメントの大学でご研究中で、ご主人は休みを利用し、奥様を訪ねておられました。サンフランシスコ・サーバスのホストのもとでご滞在し、サンフランシスコを観光中でした。が、「観光では町のことは分からない」とご主人がおっしゃったところ、「それではボランティアをしたら」と、ホストの方が言われたそうです。

私の次のボランティアは、Yさんがサーバスの方を通じ、教えて下さった場所でした。毎週金曜、また別の教会で、低所得者や移民に食料を配給する奉仕です。食料はスーパーで賞味期限切れ寸前になったもので、フードバンクから輸送されます。長蛇の列でやって来る人のために、野菜や果物、パンや缶詰などを箱出しし、陳列する。そして決まった数量を手渡すのがボランティアの仕事でした。仕事は朝9時から昼4時まで。毎回400人程度のゲストが訪れたと思います。中休みにボランティアには昼食が振る舞われました。その日フードバンクから届いた同じ材料を使い、料理上手のボランティア主催者が調理しました。中南米系の人が多い土地柄、メキシコ料理風に調理された料理が多かったです。昼食は、ボランティア同士が友人になる、楽しい会話と交流の場となりました。

私はこの仕事を通じ、いかに日本が豊かさを当然としているか、実感しました。ボランティアは作業後、報酬として食料の袋を貰って帰ることができました。が、豊かな国から来ている私は、その食料に殆ど興味がありませんでした。フードバンクからの食べ物は古びていますし、綺麗な包装はなく、とても魅力的に見えなかったのです。ちょうど時間の空きがあり、地域の人と交流できるから私はボランティアに参加したのであり、食料は他で買いたい、と正直思いました。それに比べ、ボランティアの同僚の多くが、この食料の袋を目的に、遠い所から来て働いていました。配給で余った食料を貰えるだけ貰い、大きな袋をいくつも引っ張って帰る姿は、私と全く違っていました。ボランティアもボランティア指導者も、アメリカ人だけでなく世界の様々な地域から来ていました。中国系やフィリピン人、中南米の移民、ロシア系など、マイノリティが目立ちました。食料を取りに来るゲストも、アメリカで生活しながら英語を話せない人が少なくなく、ボランティアは中国語（標準語と広東語）、スペイン語でも対応していました。

ボランティアの場所となった教会は、伝統的な教会とかなり異なる内装でした。通常、礼拝堂の絵画と言えば、イエスの受難の物語絵や聖人の肖像と思います。が、その教会

の壁画は、王侯貴族が貧民や裸の人と手をつないで踊っている。女性も男性も若いも若きも、様々な肌の色の人々が横一列で踊っている、そんな壁画が礼拝堂の四面を張り巡らしていいました。非常に現代的な、社会意識の強い教会でした。

サンフランシスコ自身が、多様な少数民族が住み、貧困や教育の格差、犯罪、また同性愛など多くの問題に直面した町だといえます。とりわけホームレス対策は、最重要の社会課題であり、数多くの非営利団体が、クリスマスにはキャロリングをしながら靴下をホームレスに配ったり、食事や寝場所を提供していました。人々の社会奉仕に対する意識も高かったと思います。退職者、学生、失職中の人—様々な年層の男女が頼まれるのではなく、ボランティアの現場で働いていました。ボランティアの需要に対し、供給力も高いようです。ボランティア希望者があまりに多いので、シフトに空きがなく、お声がかからないこともありました。ボランティア活動はアメリカでは“volunteer opportunity” というようですが、仕事の提供者も志願者も、それを「貴重な社会奉仕の機会」と肯定的に捉えており、「してあげる」のではなく、「させてもらう」という意識でした。アメリカで色々なボランティアの機会に恵まれ、日本でも何か意義ある社会活動に関わりたい、という気持ちがそこで育ちました。

次回例会の案内

次回の支部例会は、日時等は決まっていますが、3月に予定しています。ご参加をよろしくお願ひします。